Pressio®

髙橋宗浩所長（京都新聞瀬田販売所）に聞く

プレッシオ「NR－X」

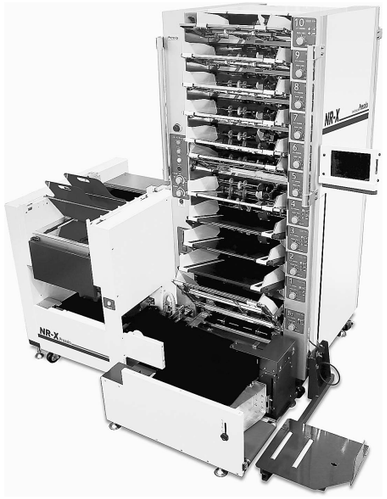
働く環境を変える「抜群の安定性と操作性」

京都新聞瀬田販売所（滋賀県大津市）の髙橋宗浩所長(59)は、業界歴40年のベテラン。プレッシオの新型インサーター搭載合機「NR－X」の開発に、1年にわたり協力し、開発陣の奮闘を見守ってきた。

完成したNR－Xは「安定性と操作性が格段に向上した」と話し、手応えを感じている髙橋所長。日販協近畿の理事としても活躍しており、新聞販売店が生き残るには、労働環境の改善による人材確保が急務と説く。

NR－Xは販売店の労働環境改善にも役立つとする髙橋所長に同機の特長などをうかがった。

「これからは折込機と言えば、NR－Xのようなインサーター機能付きが当たり前になりますよ」と話す髙橋所長



NR－X（21段機）

開発陣の奮闘に応える

データ収集への協力に加えアドバイスも

――髙橋所長は、新型機のNR－Xの開発に協力なされたと聞きました。

私は旧モデルのTZS－MIRを使っているので、後継機のNR－Xのモニターを1年ほど務めました。ユーザーの立場から、私とスタッフ数人が実際に使ってみた感想と、より使いやすくするために、改善点などの意見をプレッシオの開発担当者に伝えました。また、各種データの収集にも協力しました。

開発担当者は熱心でした。早急に改善すべき課題が出ると、すぐにNR－Xを工場へ持ち帰り修正、そして当店へ戻すという繰り返しでした。

データ収集も緻密で、その日の温度、湿度、インクの乾き具合、折込広告の紙の質や厚さなどをチェックし、事細かにデータを集めて、開発に活かしていました。途中の微調整も必要ありません。

問題が発生しても、すぐに担当者が駆け付けられないときは、私がスマホで撮影したNR－Xの動画をメールし、改善に役立てても らいました。

完成したNR－Xも使いましたが、安定性と操作性が格段に向上した素晴らしいマシンでした。私たちの意見も役に立ったと思うとうれしいですね。

給紙機構を一新

誰でもひとりで扱える操作性の良さ

――どのような点が素晴らしいと感じましたか。

圧倒的な安定感と、旧モデル以上にひとりでも楽に扱える操作性の良さです。新聞販売店の仕事をよく理解した上で、つくり込まれています。

一新された給紙機構は、とくに優れています。最初の調整で1枚目がきちんと出れば、あとは重送もありませんし、折込広告にシワが寄ることもなく、最後までノーミスの自動運転です。途中の微調整も必要ありません。

また、NR－Xは厚い朝刊から薄い夕刊まで、すべてに対応します。8㌻の夕刊にもきちんと折込広告が入ります。表面が滑りやすくて、薄い紙の折込広告にもシワが寄ることなくきれいに入りますし、インクの質が悪く、表面がべたつくような折込広告も問題ありません。

そして、B4ノビサイズ（タブロイドサイズ）の折込広告もピッタリ入ります。旧モデルは目立たない程度ですが、少しはみ出しました。

抜群の安定感なので、慣れればひとりで操作しても、2000部であれば30～40分程度で終わると思います。

小型で高性能、ひとりで操作できるうえに畳1・5畳ほどの狭いスペースに設置できます。これからは折込機と言えば、NR－Xのようなインサーター機能付きが当たり前になりますよ。

――給紙機構は、具体的にどこが改善されたのですか。

紙を送る1合機のゴムローラーを表面がギザギザの歯切りゴムから、平面のスリックゴムに替えています。

これがメチャクチャいいのです。最近は薄い紙の折込広告が増え、しかも表面がすべりやすい。そのような折込広告でもシワが寄らないし、最後まできれいなままです。旧モデルの歯切りゴムは最後のほうになるとシワが寄ったり、破れたりすることもありました。NR－Xはそれがありません。

スリックゴムにしたことで、紙にあたる表面積が増えたことも、改善につながった一つの要因だと思います。

安定性が抜群に向上し、誰でも一人で使えるようになったのも嬉しい改良点です。これは、インサーターの給紙機構が刷新され、重送による作業ストップがなくなったためです。

旧モデルはいったん5部にまとめた新聞に圧力をかけ、そこから1部ずつ給紙する仕組みを採用していました。しかしこの圧力をかけるパーツが摩耗すると、重送につながります。

NR－Xの給紙機構では、5部にまとめ圧力をかける機構がなくなり、最初から1部ずつの給紙となりました。これが安定稼働につながっているのです。

販売店の声をもとに、つくり込まれたマシン

「自分の仕事に集中できる」負担軽減が人材確保と定着化にも寄与

――瀬田販売所では、折込広告を入れる作業は、ひとりでやるのですか。

基本的に私かスタッフ（アルバイト）がひとりでやります。梱包を解いた新聞を、いま使っているTZS－MRIにセットして、折込広告が入れられた新聞を15の配達区域ごとに整理するまで、ひとりでやります。トラックから朝刊を降ろしている最中に、1／2区域は終了するので、慣れればひとりで十分できます。

NR－Xは安定性が向上していることもあり、従来機と比べても作業が早く終わりますよ。

――配達スタッフは手伝わないのですか。

配達スタッフは、店内作業をしません。配達スタッフが出社したら、すぐに新聞をバイクに積んで配達できるように、私とアルバイトスタッフの2人が準備しておきます。もちろん、雨天のビニールラッピングも私たちがやります。

配達スタッフには、配達だけに集中してほしいので、この体制をTZS－MRIを導入した5年前に整えました。

以前は、配達スタッフも配達前に折込広告を入れていました。今はその負担がないので、配達に集中できるようになり、不配や遅配はなくなりました。

その結果、人材確保の面でも応募者数が増えて定着率も上がりました。今はやめる人がほとんどいません。

現在、使用しているTZS－MRIを使って作業する髙橋所長

TZS－MRIによる労働環境の改善は、さまざまな面で効果を上げています。NR－Xを使えば、もっと効果が上がると思います。

朝刊作業は、アルバイトだけで済ませるのが目標です。

――販売店にとって、労働環境の改善は喫緊の課題です。

販売店のような中小企業が生き残るには、いかに人材を確保するかが喫緊の課題です。だからこそ、労働環境の改善は何より重要なのです。そのためにはNR－Xのような優れたマシンを使うことがポイントです。

それがないと、人手不足が深刻化するなか、労働環境改善は絶対にできません。だからプレッシオさんには、より良いマシンをつくってほしいと思い、協力したのです。

――人材募集の件ですが、瀬田販売所の好条件をPRすれば、人が集まるのでは。

まだ在籍していた社員と相談し、当店の待遇を人材募集の折込広告でPRしたところ、多数の応募がありました。足りないかもしれません。たとえば、折込広告を手入れする、作業場が狭くて仕事がしづらい、所長とコミュニケーションがとりづらいといった環境では、すぐに辞めてしまう人もいると思います。

ですが、手入れ作業や狭い作業場といった問題は、NR－Xのような小型で高性能のマシンを導入すれば、解決できます。コミュニケーションは社長の努力次第です。私は毎日店に出て、スタッフに声かけをしています。

ただ、定着率を上げるには待遇面の改善だけでは、ありません。配達スタッフは、店内作業をしません。配達スタッフが出社したら、すぐに新聞をバイクに積んで配達できるように、私とアルバイトスタッフの2人が準備しておきます。もちろん、雨天のビニールラッピングも私たちがやります。

配達スタッフには、配達だけに集中してほしいので、この体制をTZS－MRIを導入した5年前に整えました。

以前は、配達スタッフも配達前に折込広告を入れていました。今はその負担がないので、配達に集中できるようになり、不配や遅配はなくなりました。

その結果、人材確保の面でも応募者数が増えて定着率も上がりました。今はやめる人がほとんどいません。

TZS－MRIによる労働環境の改善は、さまざまな面で効果を上げています。NR－Xを使えば、もっと効果が上がると思います。

朝刊作業は、アルバイトだけで済ませるのが目標です。

――販売店にとって、労働環境の改善は喫緊の課題です。

販売店のような中小企業が生き残るには、いかに人材を確保するかが喫緊の課題です。だからこそ、労働環境の改善は何より重要なのです。そのためにはNR－Xのような優れたマシンを使うことがポイントです。

それがないと、人手不足が深刻化するなか、労働環境改善は絶対にできません。だからプレッシオさんには、より良いマシンをつくってほしいと思い、協力したのです。

――人材募集の件ですが、瀬田販売所の好条件をPRすれば、人が集まるのでは。

まだ在籍していた社員と相談し、当店の待遇を人材募集の折込広告でPRしたところ、多数の応募があり ました。足りないかもしれません。たとえば、折込広告を手入れする、作業場が狭くて仕事がしづらい、所長とコミュニケーションがとりづらいといった環境では、すぐに辞めてしまう人もいると思います。

ですが、手入れ作業や狭い作業場といった問題は、NR－Xのような小型で高性能のマシンを導入すれば、解決できます。コミュニケーションは社長の努力次第です。私は毎日店に出て、スタッフに声かけをしています。

インサート速度は中速でも十分

メンテしやすく負担軽減

――NR－Xを使ったスタッフの感想はどうでしたか。

重送などのミスもなく、最初から最後まで安定して動くので、とても使いやすいという感想でした。ただ、テストでは速度設定を高速にしていたのですが、スタッフは中速がちょうど良いと言っていました。高速だと速くて対応できず、マシンを止めることもあったので、中速より遅くなっていました。私は何の支障もなく高速で使っていたので、これは慣れの問題だと思います。

とは言っても、通常の仕事は中速で十分ですよ。無理に高速にしなくてもいいと思います。慣れてきたら高速にすればいいのです。

また、私は稼動音の音量が旧モデルより少し小さいと感じたのですが、スタッフも同じ意見でした。そこでプレッシオさんに確認したところ、音量は同じだが、音の質が変わったから小さく聞こえるのでないか、ということでした。そう言われれば、NR－Xの音は柔らかいような気がします。

――メンテナンスはいかがでしたか。

私がテストした範囲では、日頃のメンテナンスは旧モデルより楽でした。旧モデルはベルトに付着したインクを拭き取る必要がありましたが、NR－Xはベルトがローラーに変わったので、掃除する手間が省けるようになりました。

――最後になりますが、髙橋所長はNR－Xを導入するのですか。

もちろん、導入する方向で検討しますよ。NR－Xで労務環境改善を推し進め、スタッフと協力してより地域から愛される販売店を目指します。

そして、すべての新聞販売店のために、さらに汎用性の高いマシンの登場を期待しています。

6月に開催される新聞販売フォーラム神戸大会で、NR－Xのデモンストレーションが行われる予定です。同大会の日時と会場は次のとおり。

■全国新聞販売フォーラム2024神戸大会
▽開催日　6月12日（水）
▽時間　午前11時～午後3時半
▽会場　神戸ポートピアホテル（神戸市中央区港島中町6－10－1

■プレッシオ連絡先
0120－37－2040
※お客様の発信エリアを認知して、担当エリアの営業所につながります。

■プレッシオHP
https://www.pressio.co.jp/